

2022年の「UDFの日」記念啓発活動

先日、7月15日（金）に創立20周年記念総会（第21回定期総会）を開催いたしました。会員企業各位のご協力のもと、令和4（2022）年度の事業並びに収支予算が無事に承認されました。また、同時に開催した講演会では、3年振りに講師に会場でご講演をいただくことができました。今回の講師は、ちゅうざん病院副院長 吉田貞夫先生をお招きし、「超高齢社会に活かしたい栄養のチカラ」を演題にご講演をいただきました。また、今回は会員懇親会についても講演会同様、3年振りに開催をいたしました。着席でのマスク会食でしたが、総会一連の行事として無事に開催でき安堵いたしました。気を遣わずに何でもできる世の中がまた来ることを願ってやみません。

さて、今年も6年目となる「7月11日はUDFの日」記念事業を実施しました。

今回も、電車内広告やラジオCM、インターネットを使い「UDFの日」の啓発を実施いたしました。これらの施策は、例年同様、ホームページで開催した「UDFの日プレゼントキャンペーン」に紐づけて企画いたしました。今回のキャンペーンは6月21日～7月31日のおよそ40日間開催いたしました。

1) 電車内広告の活用

今回は、小田急線を利用しました。全車両のドア横前後左右へ4枚のポスターを掲出いたしました。期間は「UDFの日」を含む7月1日～31日の1カ月間、およそ5,500万人に対する啓発となりました。

2) ラジオの活用

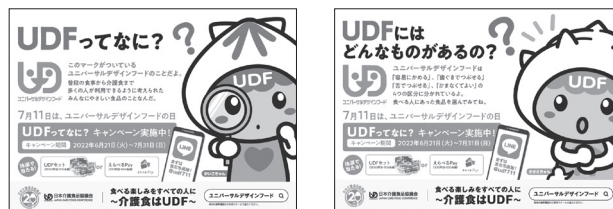
今回もラジオCMを活用いたしました。今回は、近畿エリアへの啓発として、聴取率の高い2つの番組に対してそれぞれ80秒の生CMを実施しました（MBSラジオ）。放送日は7月8日（金）および11日（月）午前中～午後の時間帯でした。8日放送分については、設定枠を越える4分近くの時間をかけてUDFやキャンペーンについて丁寧にご説明いただきました。

3) インターネットツールの活用

ホームページでは「UDFの日」プレゼントキャンペーンを実施し、UDF製品の詰め合わせの他、多くの方々にUDFを知っていただくきっかけにな

ればという想いから、デジタルギフト券も用意し応募を募りました。また、公式LINEからもこれらキャンペーンを積極的にお知らせしました。今回のキャンペーンでは、応募者の抽選方法を変更し、結果がすぐわかるくじタイプを臨みましたが、今回の活動全体を受けて応募者は10,888名、前回との対比では318.8%で過去最高となりました。

今後も多くの皆様にUDFの情報をお届けできるよう、企画を工夫して取り組んでまいります。



車内ドア横ポスターの一部

【会議、催事等の予定】

- 9月7日（水）第3回技術委員会
- 9月12日（月）第40回新宿食支援研究会 WG
- 9月23日（金）～24日（土）第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
- 9月27日（火）第3回普及委員会

【UDF商品登録状況（2,214品目・7月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とりみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	11	8	1	91	4	115
冷凍食品	341	259	798	21	0	0	1,419
常温食品	236	73	211	158	2	0	680
合計	577	343	1,017	180	93	4	2,214

【会員の異動（7月）】

計90社（7月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>